

## 野村ブラックロック循環経済関連株投信

Aコース（米ドル売り円買い）／Bコース（為替ヘッジなし）

愛称：ザ・サーキュラー **THE CIRCULAR**

追加型投信／内外／株式

### 設定後のポートフォリオについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年8月24日に設定しました「野村ブラックロック循環経済関連株投信」（以下、ファンド）のポートフォリオ状況についてお知らせいたします。

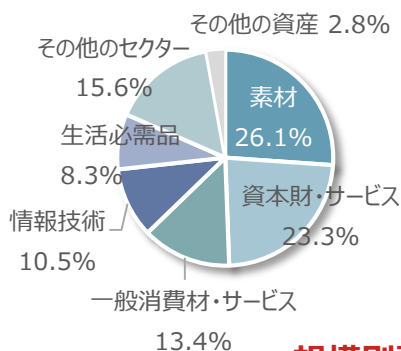
2020年8月31日現在の「セクター別配分比率」「国・地域別配分比率」「通貨別配分比率」「規模別配分比率」「分野別配分比率」「組入上位10銘柄」「組入銘柄数」は以下のとおりです。

## ポートフォリオの資産内容①

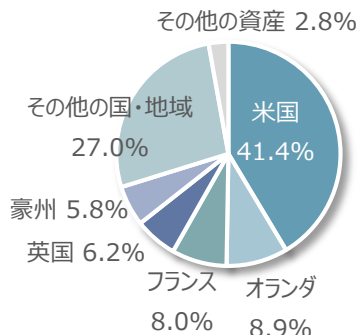
2020年8月31日現在

ファンドが投資対象とする外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」の資産内容

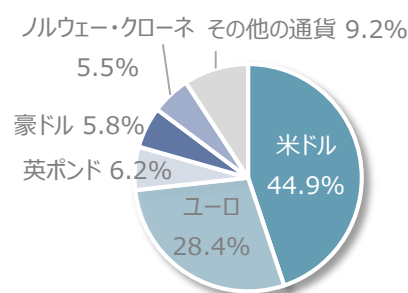
### セクター別配分比率



### 国・地域別配分比率

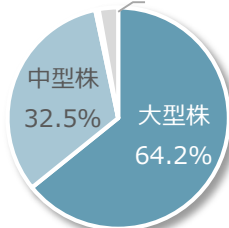


### 通貨別配分比率



### 規模別配分比率

小型株 0.5% 大型株 64.2% 中型株 32.5% その他の資産 2.8%



大型株：100億米ドル以上  
 中型株：20億米ドル以上100億米ドル未満  
 小型株：20億米ドル未満  
 （時価総額ベース）  
 規模別分類はブラックロックによります。

上記は純資産比。国・地域は原則発行国・地域で区分です。セクター分類はGICSによります。  
 四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

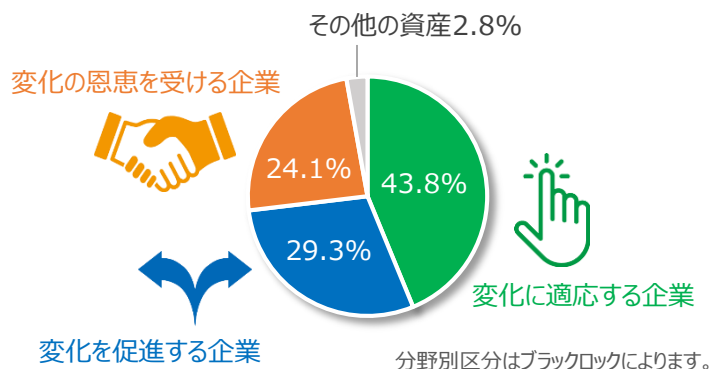
（出所）ブラックロックの情報提供を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ポートフォリオの資産内容②

2020年8月31日現在

### 分野別配分比率



<各分野の概要は以下の通りです。>



持続可能な事業を行なう事を公言する企業、再生プラスチックの使用を公言する企業



原材料の効率的な使用や環境汚染防止に対して、革新的なソリューションを提供している企業



サーキュラーエコノミーを核としたビジネスが既に確立されている企業

### 組入上位10銘柄

組入銘柄数：45銘柄

分野	銘柄	国・地域	セクター	純資産比 (%)
	ボール	米国	素材	3.7
	コーニンクレッカ・フィリップス	オランダ	ヘルスケア	3.4
	マイクロソフト	米国	情報技術	3.4
	グラフィック・パッケージング・ホールディング	米国	素材	3.3
	トムラ・システムズ	ノルウェー	資本財・サービス	3.3
	オーウェンス コーニング	米国	資本財・サービス	3.2
	トレックス	米国	資本財・サービス	3.1
	ナイキ	米国	一般消費材・サービス	3.0
	エネル	イタリア	公益事業	2.9
	シグ・コンビブロック・グループ	スイス	素材	2.8

国・地域は原則発行国・地域で区分、セクター分類はGICSによります。

上記は、ファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

(出所) ブラックロックの情報提供を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

## 投資環境

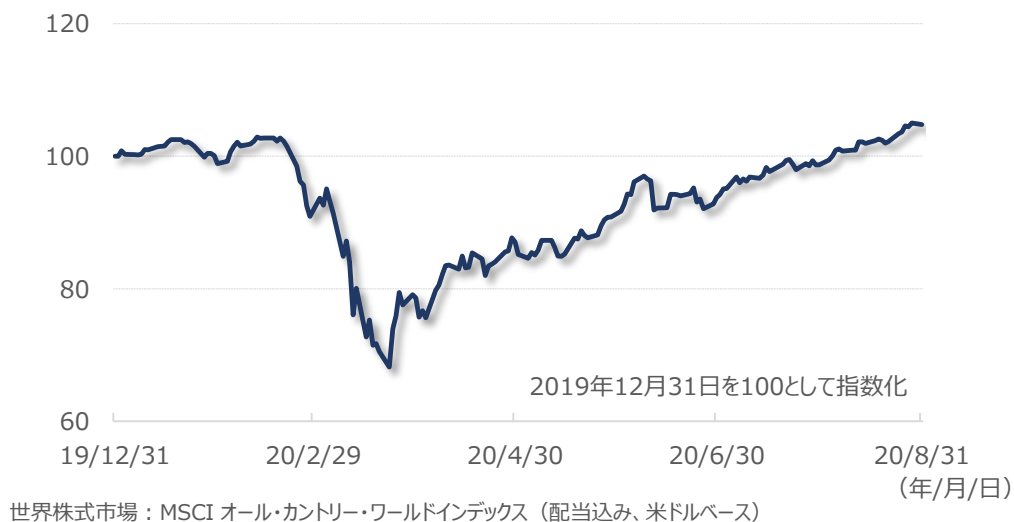
世界株式市場は、2020年初来で見ると、新型コロナウイルスの感染が拡大し、世界経済への懸念が高まったことや、原油価格が急落したことなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まり3月中旬にかけて下落しました。その後は、ドイツや米国において財政支出や企業支援策といった経済対策が決定されたことなどから反発し、4月以降では、世界各国の都市でロックダウン（都市封鎖）が一部緩和されたことや、FRB（米連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）などが金融システムの安定性を維持するための施策を強化したことなどから、堅調な推移となりました。

ファンド設定来（2020年8月24日）でも、世界株式市場は、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が高まったことなどから、米国株式市場を中心に堅調に推移しました。

7月のEU（欧州連合）首脳会談において新型コロナウイルスで経済が悪化した国を支援する復興基金創設で合意しました。予算の多くは気候変動分野、デジタル化を含む次世代型の「サステナブル（持続可能）な経済」への転換に投じられる予定です。なかでも2021年から導入のプラスチック税は「サーキュラーエコノミー（循環経済）」の加速に追い風になると考えられます。EUが掲げた新規財源案では、2021年1月より再利用できないプラスチックに課税を行なうことから、再利用可能な材料の使用を促すことで、企業に対してサーキュラーエコノミーに則った企業戦略を採用させる狙いがあると考えられます。

### 世界株式市場の推移

期間：2019年12月31日～2020年8月31日、日次



（出所）ブルームバークデータを基に野村アセットマネジメント作成

MSCI オール・カンントリー・ワールドインデックスはMSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI に帰属します。また、MSCI は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

## 今後の運用方針

日本でもレジ袋有料化などプラスチックゴミの問題を意識する機会が増える中、サステナビリティ（持続可能性）に注力する企業が世界で増加しています。投資家から見た場合、サステナビリティに注力している企業とそうでない企業との間で大規模な資本の再分配が長期的に行なわれると考えています。

ファンドでは従来型の経済モデル「とって作って捨てるという一方通行型」から新たな経済モデル「サーキュラーエコノミー（循環経済）」へ移り変わることによる「政府による規制強化などの政策」、「企業によるサーキュラーエコノミーへの対応」「個人における社会的課題への意識の高まり」といった潮流に焦点を当て、投資リターンの源泉とします。

ファンドは、サーキュラーエコノミー（循環経済）の恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に投資を行ないます。ファンドは、「変化に適応する企業」、「変化を促進する企業」、「変化の恩恵を受ける企業」の3つの分野に着目し投資を行ないます。

\*ファンドにおいてサーキュラーエコノミーのコンセプトは、廃棄物の最少化およびリサイクルや再利用を活性化させるために製品やシステムの再設計を促進すること、とされています。

ファンドはサーキュラーエコノミーを推進するエレン・マッカーサー財団との専属パートナー契約に基づき、同財団のサーキュラーエコノミーに関する知見を活用した上で、ESG（環境、社会、企業統治）評価を含めたファンダメンタルズ(基礎的諸条件)分析を行ない、組入銘柄を決定します。また、リスク特性や銘柄分散等を勘案してポートフォリオを構築します。



## 1位 ボール

BALL CORP 〈米国〉

### 会社概要

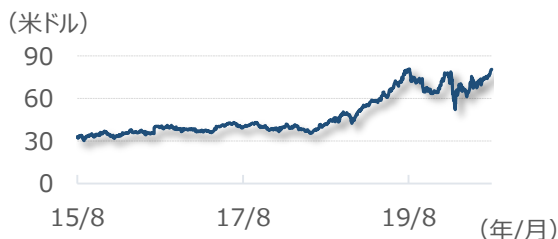
米国に本社を置く、飲料用アルミニウム缶製造メーカー。

### サーキュラーエコノミーの観点

同社は無限に再利用可能な製品を意識し設計・製造をしていることに加え、業界全体のアルミニウム缶回収率とリサイクル率の上昇を目指しています。コカ・コーラ、ペプシ、ネスレといった大手飲料メーカーが、脱ペットボトルや脱ガラス瓶の動きが加速する中、確かな技術力に裏付けられた同社製品の高い成長が期待されます。

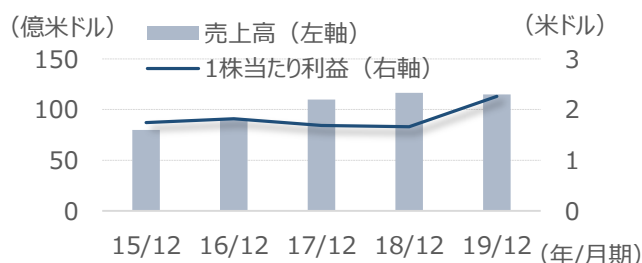
### 株価推移

期間：2015年8月31日～2020年8月31日、日次



### 売上高および1株当たり利益

期間：2015年12月期～2019年12月期



## 2位 コーニンクレッカ・フィリップス

KONINKLIJKE PHILIPS NV 〈オランダ〉

### 会社概要

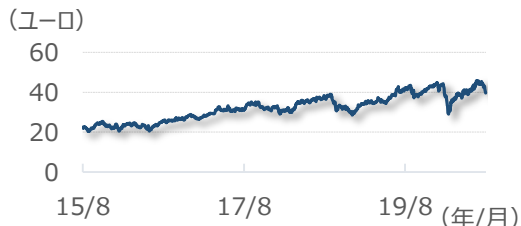
1891年創業、画像診断や患者モニタリングといったヘルステック分野のリーディングカンパニー。

### サーキュラーエコノミーの観点

同社は100%再生可能な製品の開発に加え、修理事業やレンタル事業などにも参入し、製品を長く使用してもらうための取り組みを行なっています。このような取り組みによる収益を2020年全体収益の15%（2018年実績は12%）までに引き上げることを宣言しています。同社のサーキュラーエコノミーへの取り組みはブランド力向上に貢献しており、顧客の定着率の向上や、良い人材の確保に繋がるため、企業としての更なる成長が期待できます。

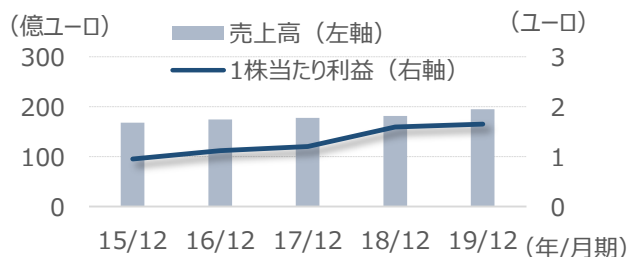
### 株価推移

期間：2015年8月31日～2020年8月31日、日次



### 売上高および1株当たり利益

期間：2015年12月期～2019年12月期



上記は、ファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

(出所) ブラックロックの情報提供、ブルームバークデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。



## 3位 マイクロソフト

MICROSOFT CORP〈米国〉

### 会社概要

世界最大級のクラウドコンピューティング企業。  
WindowsやMicrosoft Office、Microsoft Azureなどを展開。当社はソフトウェアからクラウドにビジネスを移行しつつあり、AWS(アマゾン ウェブ サービス)やゲームからシェアを獲得。

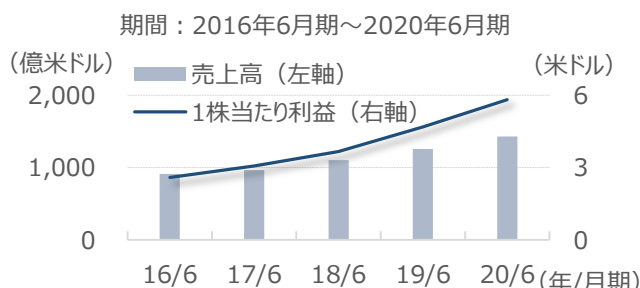
### サーキュラーエコノミーの観点

2019年、同社はH&Mなどと共同プロジェクトを発足し、服飾製品にサーキュラーIDと呼ばれる埋め込みタグを付け、ライフサイクル情報を付与することで、リセール、シェアリング、リサイクルの促進を目指します。また、電子廃棄物やクラウドのリサイクルにも注力しており、今後、大規模データセンターの老朽化などが課題となる中、この取り組みが注目されます。

### 株価推移



### 売上高および1株当たり利益



## 4位 グラフィック・パッケージング・ホールディング

GRAPHIC PACKAGING HOLDING CO 〈米国〉

### 会社概要

米国を拠点とする商品流通に不可欠な包装を製造販売する業界大手企業。再生可能な紙パッケージの開発と製造を手掛ける。

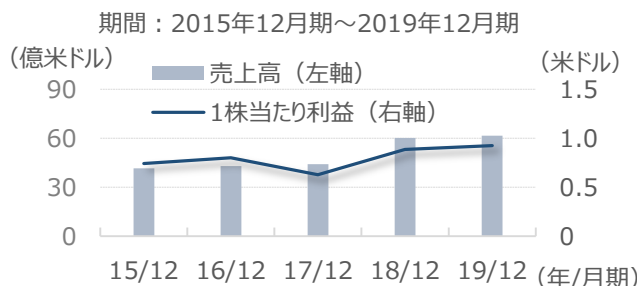
### サーキュラーエコノミーの観点

同社は製造する紙や段ボールについて、2020年までに、再生リサイクル率を70%に引き上げることをはじめ、製造過程で発生する廃棄物の分類を徹底し最小限にとどめる事を宣言しています。当社の製品が高品質であり、顧客企業と消費者からの支持も高いことから、当社製品の高い成長が期待できます。

### 株価推移



### 売上高および1株当たり利益

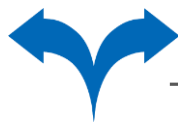


上記は、ファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

(出所) ブラックロックの情報提供、ブルームバークデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。



## 5位 トムラ・システムズ

TOMRA SYSTEMS ASA 〈ノルウェー〉

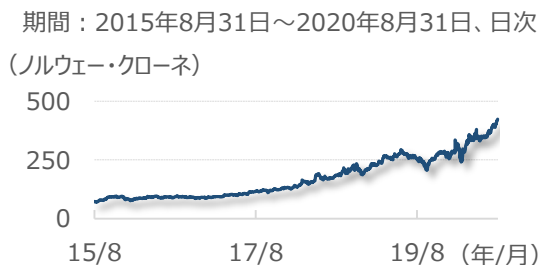
### 会社概要

世界80カ国以上で展開。飲料・食品空容器の消費者参加型資源回収・リサイクルシステムを主に製造・提供。

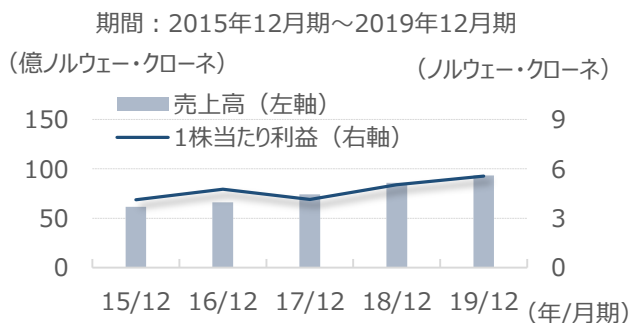
### サーキュラーエコノミーの観点

消費者参加型リサイクルシステムの普及を各国で進めるなど、リサイクル業界のリーディングカンパニー。回収現場が抱える問題に着目し、経済的で環境に優しい革新的な解決策を提案。日本では、セブン-イレブン・ジャパンなどの大手小売店とも共同でリサイクルに取り組んでいます。持続可能性と自動化というテーマで長期的な成長が見込め、EUで検討されているプラスチック税の導入により同社の更なる成長が期待できます。

### 株価推移



### 売上高および1株当たり利益



## 6位 オーウェンス コーニング

OWENS CORNING 〈米国〉

### 会社概要

世界33カ国で展開するガラスリサイクル分野におけるリーディングカンパニー。

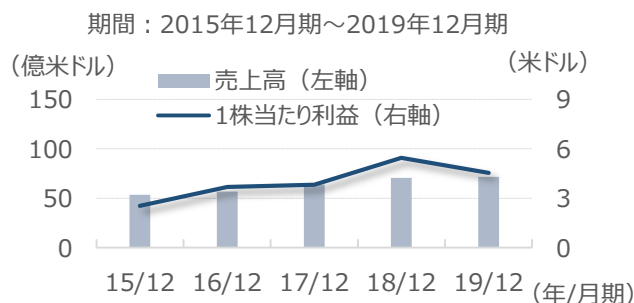
### サーキュラーエコノミーの観点

同社は、環境配慮が求められる建設業界の中で、リサイクルガラスをグラスファイバーや断熱材に最も使用し、ガラス繊維市場で世界のトップクラスのシェアを誇ります。エネルギー効率が高く、環境負荷を考慮した素材開発を行っており、主力断熱材「PINK」はリサイクルガラスの使用率が70%以上と業界トップクラスです。米国内におけるリモートワークの普及による都市から郊外への移住者増加のトレンドにより住宅資材需要が高まると期待されます。

### 株価推移



### 売上高および1株当たり利益



上記は、ファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

(出所) ブラックロックの情報提供、ブルームバークデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。



## 7位 トレックス

TREX CO INC 〈米国〉

### 会社概要

ウッドデッキの代替品を製造、販売し、プラスチック再生複合材を世界で初めて産業化に成功した企業。

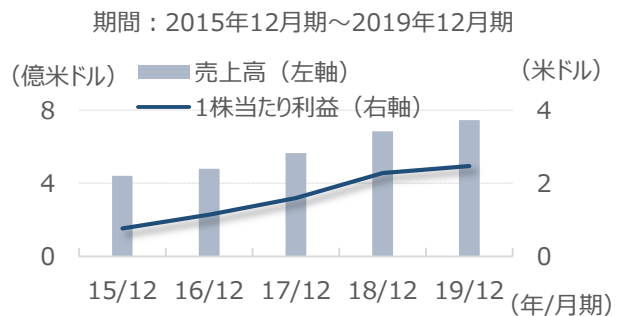
### サーキュラーエコノミーの観点

木材を原料としたウッドデッキではなく、非木材を原料とした代替品の生産で業績を伸ばしてきました。同社のウッドデッキには、リサイクル木材とリサイクルポリエチレンから作られた代替木材が使用されています。環境に優しい製造プロセスを採用し、更に有害な化学物質の使用を排除しています。水資源の利用の削減、その他エネルギーや廃棄物の削減にも成功しており、サーキュラーエコノミーに基づいたビジネスモデル転換によってコストの削減と競争優位の獲得を実現しています。

### 株価推移



### 売上高および1株当たり利益



## 8位 ナイキ

NIKE INC CLASS B 〈米国〉

### 会社概要

スポーツ関連商品の世界的企業。ダウ工業株30種平均指数の構成銘柄。

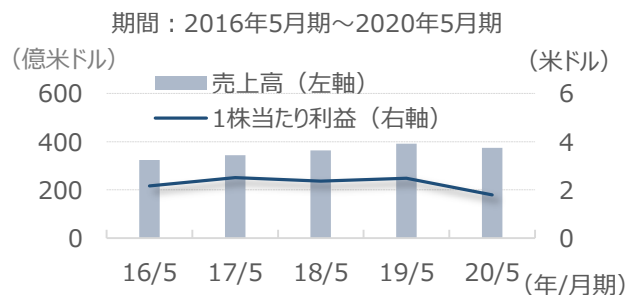
### サーキュラーエコノミーの観点

2019年に「ムーブ・トゥー・ゼロ」策定、ペットボトルを再利用しジャージの原料となる繊維にすることや、スニーカーの生産過程によって生まれる廃棄物の約99%を再利用することを目標に掲げるなど、世界的にみてもいち早くサーキュラーエコノミーへの取り組みを開始した企業の1つです。環境への負荷低減だけではなく、デザインや製造工程などを見直したコスト削減も徹底しており、今後も環境への配慮と収益力の強化が期待されます。

### 株価推移



### 売上高および1株当たり利益



上記は、ファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

(出所) ブラックロックの情報提供、ブルームバークデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。





## 9位 エネル

ENEL S.p.A 〈イタリア〉

### 会社概要

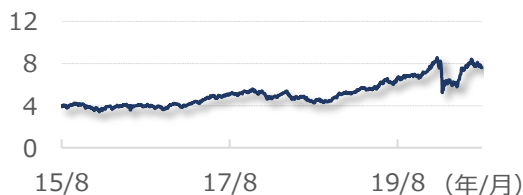
世界有数の電力・エネルギー企業。ガス事業や通信事業も手掛けており、大きな事業基盤を有している。

### サーキュラーエコノミーの観点

電気自動車(EV)の充電ステーションの設置に取り組んでいる他、電力の必要のない時には、蓄電するあるいは電力を必要とする外部に供給するといったスマートな電力消費プログラムを他企業にソリューションとして提供しています。同社はこのプログラムで、35カ国において、原発約6基相当分の「仮想発電所」を運用しており、サーキュラーエコノミーの取り組みを先進的に進める電力会社として注目されています。

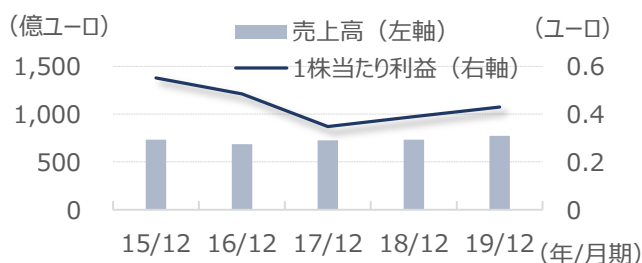
### 株価推移

期間：2015年8月31日～2020年8月31日、日次(ユーロ)



### 売上高および1株当たり利益

期間：2015年12月期～2019年12月期



## 10位 シグ・コンビブロック・グループ

SIG COMBIBLOC GROUP AG 〈スイス〉

### 会社概要

世界的な食料品向け紙容器と充填機の製造企業。世界40カ国以上で事業を展開。

### サーキュラーエコノミーの観点

森林認証紙をベースとし植物樹脂を使用して製造されるシグの紙容器は、環境への負荷も少なく内容物のバリア性にも優れています。日本でも大日本印刷との合併会社である株式会社DNP・SIG Combiblocを通じて事業を行っており、同社が提供する「無菌充填システム」はゼリーなどの小さい固形物を液体と一緒に紙容器に充填することが可能であり、その充填スピードは世界高水準です。この高い技術力を有する同社は、長期的な視点でも十分な成長性が期待されます。

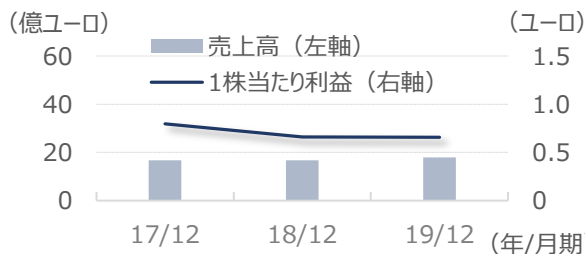
### 株価推移

期間：2018年9月28日～2020年8月31日、日次(スイス・フラン)



### 売上高および1株当たり利益

期間：2017年12月期～2019年12月期



上記は、ファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

(出所) ブラックロックの情報提供、ブルームバークデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

## ファンドの特色

**1** 新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式を実質的な主要投資対象※1とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

※1 実質的な主要投資対象とは、外国投資法人や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

- ◆ 外国投資法人である「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

### 外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」の主な投資方針

- ・新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とし、トータル・リターンを最大化を目指して運用を行なうことを基本とします。
- ・ファンドはサーキュラーエコノミー(循環経済)※2の恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に投資を行ないます。

※2 サーキュラーエコノミー(循環経済)のコンセプトは、廃棄物の最少化およびリサイクルや再利用を活性化させるために製品やシステムの再設計を促進すること、とされています。

**2** ファンドは投資対象とする外国投資法人において、米ドル売り円買いの為替取引を行なう「Aコース」と対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行なわない「Bコース」から構成されています。また、「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
Aコース (米ドル売り円買い※3)	ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス 12ヘッジ (円建て)
Bコース (為替ヘッジなし)	ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス 12 (円建て)

※3 Aコースにおける「米ドル売り円買い」とは、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことをいいます。したがって、保有する実質的な外貨建資産について対円で為替ヘッジを行なうことを目的としません。

#### 【分配金の留意事項】

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

## 投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

### 【お申込みメモ】

●信託期間	2030年8月6日まで（2020年8月24日設定）	
●決算日および収益分配	年2回の毎決算時（原則、2月および8月の6日（休業日の場合は翌営業日）に、分配の方針に基づき分配します。 *初回決算日は2021年2月8日となります。	
ご購入時	●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	●ご購入代金	原則、ご購入申込日から起算して7営業日目までに販売会社にお支払いください。 一般コース（分配金を受取るコース）：1万口以上1口単位または1万円以上1円単位
	●ご購入単位	自動けいぞく投資コース（分配金が再投資されるコース）：1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 *原則、ご購入後にコースの変更はできません。 *詳しくは、野村證券にお問い合わせください。
ご換金時	●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額
	●ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して7営業日目から販売会社にお支払いします。
	●ご換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
その他	●スイッチング	「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。 販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金およびスイッチングの各お申込みができません。 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドン証券取引所
	●お申込不可日	
課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	

※お申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

### 【当ファンドに係る費用】

（2020年9月現在）

●ご購入時手数料	ご購入代金*に応じてご購入価額に以下の率を乗じて得た額	
	ご購入代金	ご購入時手数料率
	1億円未満	3.3% (税抜 3.0%)
	1億円以上5億円未満	1.65% (税抜 1.5%)
	5億円以上	0.55% (税抜 0.5%)
	*ご購入代金 = ご購入口数 × 基準価額 + ご購入時手数料（税込） <スイッチング時>ありません。	
●運用管理費用（信託報酬）	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 ○純資産総額に年1.10%（税抜年1.00%）の率を乗じて得た額 ○実質的にご負担いただく信託報酬率（信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加えた概算値）年1.83%程度（税込）	
●その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。 （運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。） ・組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ファンドに関する租税 等	
●信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）	ありません。	

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

### ◆お申込みは **野村証券**

商号：野村証券株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号  
 加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 /  
 一般社団法人金融先物取引業協会 /  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

### ◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会 /  
 一般社団法人日本投資顧問業協会 /  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

http://www.nomura-am.co.jp/



## 当資料について

---

- 当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

## お申込みに際してのご留意事項

---

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ファンドの分配金は、投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。のうえ、ご自身でご判断ください。